

# 水道事業の将来像

## 3.1 基本理念

厚生労働省では、「時代や環境の変化に的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道」を理想に掲げています。東海村においても、これを踏まえつつ、前計画の「いつでも安心な水を安定して供給します」を継続して基本理念に掲げ、今後の施策を推進します。

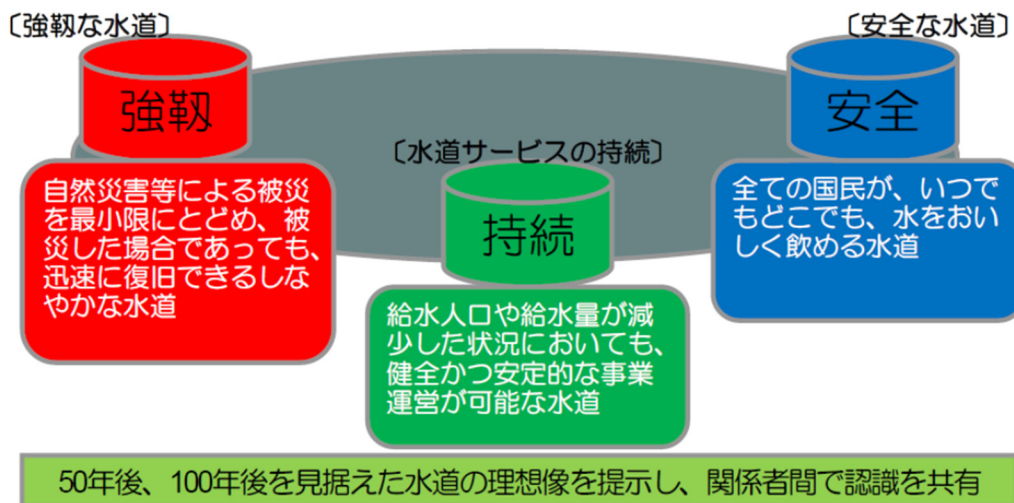
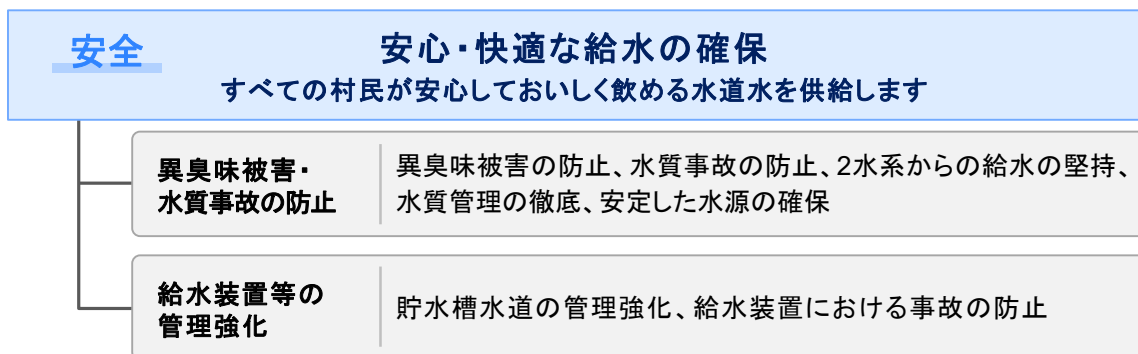


図 3.1 水道の理想像（厚生労働省ホームページより）

## 3.2 施策の体系

東海村水道事業において、今後の推進施策を「安全」、「強靭」、「持続」の観点から整理しました。今後、必要となる新たな施策の追加や既往の中期経営計画で掲げた施策の達成状況等を踏まえ、改めて整理を行いました。

各観点ごとに基本目標を掲げ、それぞれ施策を展開します。



## 強靱

### 災害対策等の充実 いつでもどこでも安定的に生活用水を確保します

水道施設の耐震化	外宿浄水場等の耐震化、管路の耐震化、緊急時の配水体制の構築
渇水対策	渇水に強い水道の構築
応急給水の確保	応急給水体制の整備、配水池等での備蓄量の確保、給水拠点の整備
応急復旧体制の整備	危機管理マニュアルの策定、相互応援協定等による応急復旧体制の整備

## 持続

### 水道の運営基盤の強化・サービスの向上 持続可能な水道事業を運営します

広域的な取り組みの推進	茨城県中央広域水道との連携による広域的な水源確保、久慈川水系の広域的な水源保全と監視体制の強化
健全な事業経営の推進	業務の効率化、業務指標(PI)を活用した業務評価の実施、検針・料金徴収業務の効率化、自己水・受水割合の適正化
技術基盤の確保、利用者サービスの向上	浄配水場の運転管理体制の強化、水質検査体制の確立、職員の研修、意識改革等による人材の強化、技術管理体制の確立、広報の充実及び情報公開の推進、サービスの向上
計画的な施設の更新	老朽化施設の更新、漏水対応の充実と予防措置
環境・エネルギー対策の強化	資源の有効活用、省エネルギーの推進